

2 月度常議員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成22年2月24日（水） 14：00～16：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 森本支部長

常 議 員 神 澤、松 下、山 浦、吉 澤

笹 村、服 部、藤 井、藤 田、藤 谷、村 上

支部監事 上 田

事 務 局 児 玉

【審議事項】

(1) 議事録確認の件 (No. 2)

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

(2) 支部報告 1. 事業報告 (No. 3)

2. 会計報告 (No. 4)

- 事務局より報告があり、承認された。

(3) 「司法支援建築会議」会員候補者推薦依頼の件 (No. 5)

- 事務局より司法支援建築会議の概要と本部から依頼のあった今回の内容について説明された。
- 本部から依頼のあった司法支援登録会員の推薦については、各役員の所属先にて2名程度を人選する結果を事務局に連絡することとなった。

(4) 平成22年度通常総会付随行事「長期法人会員感謝状贈呈企業」について (No. 6)

- 審議の結果、東レ(株)、コーナン建設(株)、(株)きんでん、関西電力(株)の4社に感謝状(盾)を贈呈することとした。

(5) 親と子の建築教室に関する提案について (No. 7)

- 藤井常議員より、「親と子の建築教室“家をつくろう”“親と子で土壁塗りに挑戦”」の事業対応に関する現状と問題点について以下の説明があった。
- 担当の常議員は2年ごとに交代するため、2年以上前のことが十分に継承されていないため、本年度より、佐藤裕一先生（京都大学）に専属の委員として参画されているが、主催者である当支部が“継続的に”必要に応じて改善、実行するなどの“直接的な”活動を円滑に続けるには、いまだ十分な体制ではないと考えられる。

については、“継続的に”、“直接的に”携わっていただける方々に参加いただける体制にすることを提案する。

- 提案の具体内容としては、「親と子の都市と建築教室」拡大実行委員会の委員として、例えば、当支部住宅部会の部会員に委員となっただき、「住宅部会」の中に、“継続的に”、“直接的に”携わっていただけるような仕組みをつくっていただくことが考えられる。
- 提案の内容について審議した結果、住宅部会の檜谷主査へ神澤常議員、藤井常議員が相談することとした。

(6) 大阪市立住まい情報センターとの共催による作品展開催の件

- 名 称 建築設計展
- 内 容 建築設計競技入選作品展 : 5月28日(金)～31日(月)
出展作品講評会 : 5月30日(日)
全国大学・高専卒業設計展示会 : 6月 2日(水)～ 5日(土)
- 会 場 大阪市立住まい情報センター 8階企画展示室
- 事務局より昨年と同様に開催するとの説明があり審議の結果、共催により開催することが承認された。

(7) 後援依頼の件

- 次の後援依頼については承認された。
- エネ蔵 2010 ～エネルギーソリューション&蓄熱フェア～
 - 期 日 5月26日(水)～28日(金)
 - 会 場 インテックス大阪 2号館
 - 主 催 蓄熱フェア実行委員会

【報告事項】

(1) 大震災に備えるセミナー(2月1日開催)の終了報告 (No. 8)

- 当支部代表として出席した笹村常議員より、セミナー終了に伴い当日の概要について報告があった。

(2) 平成22年度通常総会付随行事記念講演会について (No. 9)

「平成22年日本建築学会文化賞候補－福武總一郎氏(直島福武美術館財団 理事長)」

- 本部から来年の本会文化賞に、当支部から推薦した福武總一郎氏が内定したことが事務局から報告された。
- これに伴い、来年度の通常総会付随行事記念講演会は、福武氏にお願いすることが承認された。

- 本件は、4月の理事会にて発表されるまでは、口外は控えるよう事務局から依頼があった。
- (3) (株)長谷工コーポレーション、(株)長谷工設計からの委託調査研究契約書の件
- 本部から指摘のあった、契約書に2社の記載と責任者の印を押印することに関しては、事務局と委託企業担当者が調整した結果、本部指摘事項に沿った契約書に作成し直すことになったことが報告された。
- (4) 「次期常議員選挙投票用紙」、「総会委任状」のハガキについて
- 役員の所属先に在籍する本会会員に対し、全役員は投票用紙および委任状のハガキを投函するよう周知してほしい旨の依頼が事務局からあった。(役員の直接持参も可)

以上